

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら

特集 1年間で

描いたまちのお金の話

— CONTENTS —

- 特集 令和3年度決算……………2～5
- 9月議会の概要……………6～9
- 常任委員会の活動……………10～11
- ここが知りたい！一般質問……………12～20
- 国に2件の意見書を提出……………21
- きかせて！あなたの夢……………22

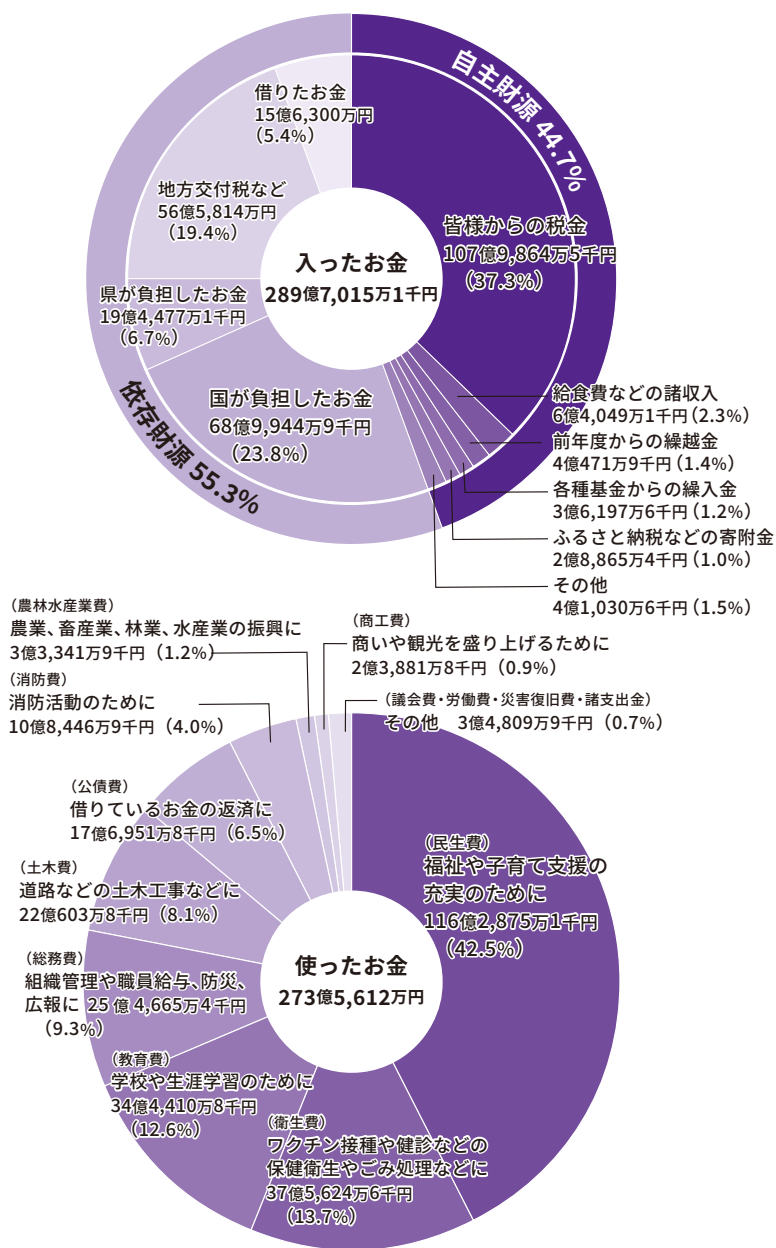


令和3年度決算から 一般会計の決算をPICK UP!

歳入総額 289億7,015万1千円 — **歳出総額 273億5,612万円**
 (令和2年度比56億2,093万3千円減) (令和2年度比65億5,024万5千円減)

差し引き額16億1,403万1千円 (令和2年度比9億2,931万2千円増)

翌年度に繰り越す(使い道が決まっている)財源2億7,197万4千円を差し引くと、実質収支額13億4,205万7千円の黒字(前年度比7億9,717万5千円増)。地方財政法第7条に基づいて、約半分の6億8,000万円を財政調整基金に積み立て、残る6億6,205万7千円が翌年度繰越金(使い道がまだ決まっていない財源)となります。



歳入・歳出が令和2年度に比べて大きく減り黒字額が大きくなっているが…

歳入は…市税(皆様からの税金)は、企業収益の減による法人市民税が減となったほか、固定資産税のうち新築家屋数の減少及び新型コロナウイルス感染症等に係る家屋に対する固定資産税の特例措置の適用増による減。個人市民税が納税義務者の所得減により減となったことなどから、税収全体として5億6536万円の減となった。その他歳入では、国庫支出金(国が負担したお金)が特別定額給付金事業費補助金の皆減などにより47億4060万6千円の減、県支出金(県が負担したお金)が社会福祉費補助金の減などにより4億592万8千円の減、市債(借りたお金)が減収補てん債の皆減などにより4億8590万円の減となったため、歳入全体では56億2093万3千円の減となった。

歳出は…民生費が非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の皆増や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の増などにより増となった一方、総務費が特別定額給付金給付事業の減など、衛生費が鹿島地方事務組合負担金の減など、教育費が鹿島中学校大規模改造工事の終了などにより減となったため、歳出全体では65億5024万5千円の減となった。

【財政調整基金】大災害時や大幅な税収減などの緊急時に取り崩す基金の残高は…?

1億9,291万円を取り崩し、事業の財源に充て、2億8,056万2千円(決算剰余金含む)を新たに積み立て、18億3,364万7千円(令和2年度比8,765万2千円の増)となった。

※「鹿嶋市財政計画」では20億円の確保を目安に積み立てや取り崩しを行っている。

決算 審査

予算決算常任委員会の決算審査では、3つの分科会に分かれ、令和3年度の決算を詳細にチェック。6つの事業を抽出し、評価をしました。

【決算評価】 A：十分評価できる B：やや評価できる C：あまり評価できない D：全く評価できない

【今後の方向性】 **拡充** さらに充実して継続 **継続** 現在の水準で継続 **改善** 改善・効率化して継続

総務生活分科会

委員長：池田芳範

副委員長：栗林京子

(※) 内田委員は市の監査委員を務めているため、決算審査には参加しません。

委員：内田政文(※)、立原弘一、河津 亨、舩井明宏

ピックアップ



公共交通対策事業

決算額 7,260万5千円

(財源：市5,720万6千円、国県636万円、その他903万9千円)

改善

市内及び広域公共交通体系の確立に向けて、地域公共交通活性化協議会の運営ほか、鹿嶋コミュニティバスや広域路線バス等の運行支援及びデマンド型乗合いタクシーの運行委託を行う事業。公共交通空白地の解消のため、これまでの鉄道、広域バス、コミュニティバスに加え、日常生活に欠かせない商業施設や医療機関、公共施設等を目的地としたデマンド型乗合いタクシーの運行を実施。

委員の評価

あまり評価できない **改善**

執行部の努力は認めるが、便数や運賃など市民要望との乖離があるため、あまり評価できない。タクシーの初乗り運賃助成との比較検討などを試みることも必要。

あまり評価できない **改善**

執行部の努力は分かるが、いろいろな問題がある。市民が今の状況で利便性をどう考えているか把握するように。無駄だと思えば新しいものへ切り替える勇氣も必要。

あまり評価できない **改善**

先進的な取組について調査研究し、市民の利便性や費用対効果を上げる新たな方策についても精査していくべき。

ピックアップ



ホームタウン推進事業

決算額 1億7,504万9千円

(財源：市31万5千円、その他1億7,473万4千円)

継続

鹿島アントラーズを活用し、本市の積極的なPR事業を展開するとともに、鹿島アントラーズ・鹿行5市・茨城県で構成する協議会をもって、地域全体の盛り上げを図る事業。例年実施している、ホームタウンデイズ等に合わせたPRイベントはコロナ禍により中止した。CF型ふるさと納税(※)を実施し、鹿行地域の子どものスポーツを通じた心身の教育や市のスポーツ文化醸成のため、鹿島アントラーズを支援した。

委員の評価

やや評価できる **継続**

ホームタウン内に目を向け、まち全体でアントラーズを応援し、そのことによって、スタジアムを中心に市、地域が盛り上がるように取り組んでいくべき。

やや評価できる **継続**

以前はあまり評価できなかったが、CF型ふるさと納税で建設したアントラーズアカデミーフィールドも含めて前向きにやっていることは評価できる。改善の余地はまだある。

やや評価できる **継続または拡充**

キャリアデザイン教室など教育分野での連携事業のように、鹿行地域内での盛り上がり期待できる取組は評価できるが、CF型ふるさと納税について、今後は目標額を達成できるよう努力すべき。

(※) CF型ふるさと納税…自治体が抱える課題の解決や地域の活性化等を図るため、ふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディング。自治体が行う事業等に対して共感した方から寄附を募る手法で、ふるさと納税における寄附金の「使い道」をより具体的にしたもの。

文教厚生分科会

委員長：樋口富士男

副委員長：川井宏子

委員：飯塚俊雄、根崎 彰、宇田一男、佐藤信成、内野敬仁

ピックアップ



改善

まちづくり市民センター管理費
決算額1,675万円
 (財源：市1,647万8千円、その他27万2千円)

市民の主体的な様々なまちづくり（学習）活動の拠点として、施設の貸出しを行うとともに、適切な施設の維持管理を行うもの。また災害時等における避難所としての役割を担っている。利用者が快適な学習環境の中で利用できるよう、施設の維持管理運営業務を行った。

委員の評価

十分評価できる 改善

災害時には、防災拠点となることから、避難所としてのスペースと避難動線の確保をしていただきたい。

十分評価できる 継続

来年度、電気ガス水道といった需用費が上がるが見込まれるため、現状の市民サービス、快適性を失わないように環境整備をしてほしい。

十分評価できる 改善

借用の部分については、相手方と協議し、解決を図ってもらいたい。今後の方向性として、できるところの改善は進めるべき。

十分評価できる 改善

改善しながらより快適なスペースである公民館を作ってもらいたい。

やや評価できる 改善

現状の管理以外にも、今後燃料代や電気代などの値上がりが予想されるため、厳しいところもあると思うが、動産・不動産を含めた適正管理を検討してもらいたい。

ピックアップ



改善

文化財保護経費
決算額1,718万1千円
 (財源：市1,710万4千円、その他7万7千円)

市内に所在する各種文化財を適切に保存管理できるよう、各施策を実施し、鹿嶋の歴史を後世へつなげる事業。指定文化財の維持管理及び調査等を実施するとともに、ミニ博物館ココシカにおける企画展示やデジタル博物館の更新等を行い、鹿嶋の歴史の周知を図った。

委員の評価

十分評価できる 改善

歴史的資料の価値が分からない状況を改善するためにも、そのための予算をつけていただきたい。資料の歴史的価値についての選別を早急に行う必要がある。

十分評価できる 改善

文化財資料の調査研究がまだまだ進んでいない。デジタルアーカイブ化の方向性はあるが、進展してないため改善を求める。

十分評価できる 改善

市の文化財保護経費としては、歴史あるまちにしては少ない。比較的少額で成果を上げていると考えるため評価できる。

十分評価できる 継続

今後、鹿島神宮の宝物館完成を視野に入れて、ココシカの実存意義を別に検討しなければならない。状況の変化に対応できるよう団体と十分な検討を行うべきである。

十分評価できる 改善

時代時代に合わせて文化財の保護はもちろん必要である。展示場所については改善が必要である。

【決算評価】 A：十分評価できる B：やや評価できる C：あまり評価できない D：全く評価できない

【今後の方向性】 拡充 さらに充実して継続 継続 現在の水準で継続 改善 改善・効率化して継続

ピックアップ



土地改良推進事業

決算額3,695万2千円

(財源：市2,581万4千円、国県1,113万8千円)

拡充

農業生産基盤及び土地基盤の整備を促進し、農業生産性の向上及び農業総生産の増大を図るため、各土地改良区に対する支援を行う事業。

委員の評価

やや評価できる 拡充

老朽化に伴い壊れたままの樋門がある状況は、大雨時の内水氾濫などが懸念され、今後の計画的な対応が求められる。課題解決のためには拡充しないといけない。

やや評価できる 拡充

本事業なしでは土地改良区は成り立たず、必要性は高い。拡充の必要がある。

やや評価できる 拡充

本事業は農地のためだけでなく地域のためにも必要不可欠。補助金や国の交付金を拡充する方向で協議を。

やや評価できる 拡充

土地改良区のポンプ修繕の補助や多面的機能支払交付金の活用などしっかり事業を実施しているが、機能しない樋門等を含めれば改善する余地がある。これからは指導・支援を。

やや評価できる 拡充

土地改良区の樋門は、農業振興のみではなく、湖岸地区の災害対策の観点からも重要な施設であり、改善策を協議する必要がある。

ピックアップ

広域観光対策事業

決算額2,722万8千円

(財源：市832万8千円、その他1,890万円)

継続

近隣市との連携事業等により、新たな観光ブランドの創出や交流人口の増加を図る事業。アントラズホームタウンDMO^(※)の運営支援など、観光による地域づくりの推進に取り組んだ。

委員の評価

十分評価できる 継続

新しい事業の導入など、賑わいのまちづくりのための努力は見える。コロナもあったためなかなか評価するのも難しいが、インバウンドで海外からの来訪者が来るようになれば、さらに増加が見込まれると思うが、今のままでもコロナ禍においては十分評価できる。

十分評価できる 継続

各事業コロナ禍の中でもしっかり取り組んでおり、今後も期待できる内容。東国水郷観光推進協議会に加わった神栖市も含め、広域で多くの観光客を迎えられるような事業の展開を期待する。

十分評価できる 継続

各事業コロナ禍の中でも努力しており、今後もコロナ禍でダメージを受けているからこそ継続して事業を実施すべき。

十分評価できる 拡充

特に東国水郷観光推進協議会に神栖市が加わったことは評価できる。これからどのように観光ビジネスに結びつけるのか、観光事業者と連携し、意見を聴きながらネットワークの構築を。

十分評価できる 継続

各事業、新しいことに取り組んだことは評価できる。DMOについて補助金は終了するが、これまで培ったノウハウをしっかりつないでほしい。

(※) アントラズホームタウンDMO…鹿行地域内にスポーツツーリズムを核とした観光プラットフォームを確立し、交流人口拡大や雇用の創出、地域経済の活性化を行うために設立された一般社団法人。観光客誘客のための着地型旅行事業と新電力販売や地域商社といった収益事業を二本柱に、地域の稼ぐ力を向上させるための事業を実施している。

9月
定例会

令和3年度決算のほか、市職員の 定年延長のための条例などについて審議

8月31日～9月22日の23日間、令和4年第3回定例会が開催され、市長から提出された15件の議案、議員から提出された1件の意見書、議会へ提出された3件の請願、委員会から提出された2件の意見書を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	概要	結果
市長から提出された議案 15件			
議案第39号	令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ1億1,715万9,000円を追加し、総額244億2,805万3,000円とするもの。歳入の主なものとしては、震災復興特別交付税による地方交付税の減2億8,274万5,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などによる国庫支出金の増1億3,596万9,000円、介護保険特別会計繰入金などによる繰入金の増1,956万円、前年度繰越金の増2億5,324万8,000円など。歳出の主なものとしては、報酬などによる市長選挙事務経費の減1,983万8,000円、子育て世帯応援商品券事業委託料などによる子ども子育て支援事業の増6,201万8,000円、合併処理浄化槽設置補助金による合併浄化槽等普及推進事業の増2,285万3,000円、道路維持補修工事費などによる道路維持補修費の増1億1,940万円、事業中止による歴史資料館整備事業の減1億642万3,000円などを計上。	原案可決
議案第40号	令和4年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ5,394万8,000円を追加し、総額46億7,473万5,000円とするもの。歳入としては、国庫支出金52万9,000円、支払基金交付金614万5,000円、繰越金4,727万4,000円、歳出としては、積立金778万6,000円、諸支出金4,616万2,000円を計上。	原案可決
議案第41号	令和4年度鹿嶋市農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ245万9,000円を追加し、総額8,115万4,000円とするもの。歳入としては、前年度繰越金の増245万9,000円、歳出としては、工事請負費による大船津地区農業集落排水施設費の増209万6,000円、修繕費による爪木地区農業集落排水施設費の増36万3,000円を計上。	原案可決
議案第42号	令和4年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収支について、既定の支出予算総額に、営業費用887万7,000円を追加し、総額14億827万5,000円とするもの。資本的収支について、既定の支出予算総額に、建設改良費13万5,000円を追加し、総額9億8,602万円とするもの。	原案可決
議案第43号	令和4年度鹿嶋市水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収支について、既定の支出予算総額に、営業費用730万1,000円を追加し、総額17億1,078万6,000円とするもの。	原案可決
議案第44号	鹿嶋市職員の降給に関する条例	地方公務員法等の改正に伴い、定年引上げに伴う管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）導入による降給を規定するほか、所要の規定を整備するため、条例を制定するもの。	原案可決
議案第45号	鹿嶋市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法等の改正に伴い、職員の定年を引き上げる（60歳→65歳）ほか、所要の規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第46号	鹿嶋市教育委員会委員の任命について	鹿嶋市教育委員会委員の任命に当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるもの。任期は、令和4年10月1日から4年間。 議案第46号：大槻 啓子 氏（再任） 議案第47号：岡田 淳 氏（新任）	原案同意
議案第47号			
議案第48号	市道路線の認定について	中地内に整備した道路1路線について、認定をするもの。	原案可決
議案第49号	令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ1億6,092万円を追加し、総額245億8,897万3,000円とするもの。歳入として、新型コロナウイルスワクチン接種対策費等による国庫支出金の増1億6,092万円、歳出として、新型コロナウイルスワクチン接種経費1億6,092万円を計上。	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。 ・宮沢 政治 氏（再任）	原案適任
認定第1号	令和3年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	令和3年度の鹿嶋市一般会計及び特別会計、鹿嶋市下水道事業会計並びに鹿嶋市水道事業会計の決算について、認定を求めるもの。	原案認定
認定第2号	令和3年度鹿嶋市下水道事業会計決算認定について		原案認定
認定第3号	令和3年度鹿嶋市水道事業会計決算認定について		原案認定
議員から提出された意見書 1件			
意見書第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定となっているが、センターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもってインボイス制度を適用することは、高齢者のやる気や生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念されるため、少額の収入しかないセンターの会員の手取額がさらに減少することなく、センターにおいて安定的な事業運営が可能となる措置を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出するもの。 【意見書の提出先：衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国税庁長官、厚生労働大臣、経済産業大臣】 議案の提出者：笹沼康弘議員	原案可決

審査は10ページ

討論は8ページ

討論は8ページ

審査は10ページ

審査は11ページ

詳細は2ページから

審査は11ページ

全文は21ページ

6

審査は
10ページ討論は
8ページ討論は
8ページ審査は
10ページ審査は
11ページ詳細は
2ページから審査は
11ページ全文は
21ページ

全文は
21 ページ

討論は
8ページから
審査は
10 ページ

討論は
9ページ
審査は
11 ページ

議案番号	議 案 名	概 要	結果
請願と委員会から提出された意見書 5 件			
令和 4 年 請 願 第 2 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	地方自治法第99条の規定に基づき、国会及び関係省庁へ意見書（第2号）を提出するよう請願するもの。	採択
意見書第2号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	国に対し、「中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること」、「学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること」、「教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること」を強く要請し、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出するもの。 【意見書の提出先：衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣】 議案の提出者：文教厚生委員会	原案 可決
令和 4 年 請 願 第 3 号	インボイス制度の実施中止を求める意見書に関する請願書	地方自治法第99条の規定に基づき、国会及び関係省庁へ意見書（第3号）を提出するよう請願するもの。	不 採 択
意見書第3号	インボイス制度の実施中止を求める意見書	免税業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税店制度を実質的に廃止するものであり、仕入れや経費に含まれる消費税を価格や単価に転嫁できなければ、ベンチャーもフリーランスも育たない。特に、鹿嶋市は日本製鉄をはじめとする大手企業が立地する「鹿島臨海工業地帯」が展開されており、下請けとして働く小規模建設事業者も多いことから、インボイス制度導入に伴う経営難による廃業などが増えれば、工業地帯の生産力を担う現場の働き手を失う事態になりかねない。また、高齢者の社会参加促進や生きがいの充実などに貢献しているシルバー人材センター事業においては、会員が請負契約を結び個人事業主として配分金（収入）を得ていることから、会員が課税業者になるか、シルバー人材センターが会員への配分金に含まれる消費税を負担するか、厳しい選択を迫られることになるなど、インボイス制度導入が与える影響は広範囲である。以上の理由から、国に対し、消費税インボイス制度の実施中止を求め、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出するもの。 【意見書の提出先：衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、法務大臣】 議案の提出者：総務生活委員会	否決
令和 4 年 請 願 第 4 号	特別支援教育の環境整備に関する請願書	鹿島特別支援学校へは、鹿行地域の5つの市から児童生徒が通っている。令和3年度は340人強、令和4年度は350人強と年々増加しており、教職員も180人強で、同校は県内第2位の児童生徒が在籍する大規模校になっている。過大過密により、適切な教室数の確保や空間の維持を行うことが出来ない。また、約2時間を要して通学する児童生徒も在籍しており、その状況は大人でも耐えられるものではなく、現状、多大なる教育機会を損失する環境となっている。鹿嶋市においては、この現状を認識され、神栖市・潮来市・行方市・銚田市と共に、新たな特別支援学校の創設を求める。知的障がいや重複障がいがある子ども達により良い教育環境が得られる空間であることを望み、格別なご配慮をお願いし、以下の請願事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定にもとづき県への意見書を提出するよう請願するもの。 1. 知的障がい児、肢体不自由児対応の特別支援学校を鹿行地域の適切な箇所に新設する。 2. 重複クラスを尊重する。 3. 医療的ケア児の特性を踏まえた教育環境、通学環境を整備する。	不 採 択

議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案と 議員(会派)の賛否結果	未来かしま										公明 かしま	日本 共産党	幹 会		無会派		無所 属		
	飯塚 俊雄	内田 政文	根崎 彰	池田 芳範	坂本 仙一	小池 みよ子	栗林 京子	笹沼 康弘	内野 敬仁	山口 哲秀	樋口 富士男	立原 弘一	川井 宏子	宇田 一男	菅谷 毅	舛井 明宏	河津 亨	佐藤 信成	田口 茂
令和4年請願第3号 インボイス制度 の実施中止を求める意見書に関する 請願書	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号 インボイス制度の実施 中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年請願第4号 特別支援教育の 環境整備に関する請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=—

※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。



討論

■議案第44号 鹿嶋市職員の降給に関する条例

地方公務員法等の改正に伴い、定年引上げに伴う管理監督職務上限年齢制（役職定年制）導入による降給を規定するほか、所要の規定を整備するため、条例を制定するもの。

■議案第45号 鹿嶋市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法等の改正に伴い、職員の定年を引き上げる（60歳↓65歳）ほか、所要の規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。

賛成



立原弘一 議員

正規職員として勤務できる期間が延長され、生活関連手当が支給されるなど、現在の再任用職員より処遇は改善されるため、基本的には賛成する。しかし、定年延長の対象となった職員は正規職員で

ありながら60歳を超えた職員の給与は7割に引き下げられること、人件費の増加分は現状全て自治体負担となっていることなど内容の改善が必要。職員の待遇改善と老後保障、市の未来を支える若い有能な職員の積極採用に取り組み、市民の福祉、暮らしの向上に貢献できる市政の発展を強く要望し、賛成とする。

■認定第1号 令和3年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

令和3年度の鹿嶋市一般会計及び特別会計の決算について、認定を求めるもの。（概要は2〜5ページをチェック）

賛成



宇田一男 議員

4年ぶりとなる実質単年度収支の黒字化や財政調整基金の積み増しを図るなど数値的にも改善されており評価できる。しかし、長引くコロナ禍により予定していた事業の中止や、国における新型コロナウイルス臨時交付金の大幅な財源措置などが要因であることから、根本的な課題は解決に至っていない。先

行き不透明な状況であるが、将来を見据え、中長期の将来像を描いた有効かつ持続的な事業を、来年度予算において作り上げ、強靱な財政力のもと魅力あるまちづくりが進められることを期待し、賛成とする。

賛成



立原弘一 議員

4月から市長も替わり、新たな気構えで市政に望む気持ちについては共有する。もちろん何でも賛成という態度になるつもりはないが、今回の決算審査では多数の厳しい意見も出され、報告にも反映されている。令和5年度予算にどのようなに反映され、市民の福祉、暮らし、教育の向上に資することのできる市政に発展するための土台を作っていくスタートとして、新市長の掲げる改革が住民本位の市政実現の大きな一歩となることを願い、賛成とする。

■令和4年請願第3号 インボイス制度の実施中止を求める意見書に関する請願書

消費税インボイス制度の実施中止を求め、地方自治法第99条の規

定に基づき、国会または関係省庁へ意見書を提出するよう請願するもの。

賛成



川井宏子 議員

日本でインボイス制度が導入されると、課税売上高1000万円以下の免税業者全国500万、さらに1000万と言われるフリーランスに納税義務が課せられる。市には対象業者の方は約5000人、課税業者と取引のある方に影響が大きい。課税業者と取引のある小規模業者、個人事業主に大きな影響を受けるインボイス制度は市、市民にとって大きな影響があると考えられる。この状況でインボイス制度を強行に実施すれば国民、市民生活が成り立たなくなると考え、賛成とする。

賛成



立原弘一 議員

来年10月からインボイス制度が導入されると、零細事業者やフリーランスで働く人などに経済的にも事務的にも大変な負担が生じる。財務省の推計でもインボイス導

入に伴う増税額は2480億円となっている。地域経済のみならず日本の経済を大本で支えながら、コロナ禍の不況に苦しみ、また弱肉強食の新自由主義経済のもとで苦しみながら必死に営業を守っている事業者の皆さんをさらに苦しめるようなインボイス制度は中止以外になく、本請願に対して賛成とする。

賛成



菅谷毅議員

来年10月からインボイス制度が実施されようとしているが、自動車産業など輸出で潤う大企業には消費税の戻し税が1・2兆円と巨額になる一方で、中小企業へは2500億円もの課税強化となることは、弱い者いじめだと言わざるを得ない。シルバー人材センターなどへの特別な措置も必要であるが、全ての小規模事業者やフリーランスへの影響を考慮し、制度の中止を求めるべきであり、本請願に賛成とする。

■令和4年請願第4号 特別支援教育の環境整備に関する請願書

次の請願事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定にもとづ

き県への意見書を提出するよう請願するもの。

- ① 知的障がい児、肢体不自由児対応の特別支援学校を鹿行地域の適切な箇所に新設する。
- ② 重複クラスを尊重する。
- ③ 医療的ケア児の特性を踏まえた教育環境、通学環境を整備する。

賛成



川井宏子議員

今回出されている特別支援教育の環境整備に関する請願内容は、鹿島特別支援学校の過密な現状、長距離通学による子どもたちへの負担などから見て、家族のごく当たり前の要望である。一つ一つの問題が解消されることは、教育の現場も、子どもたちの育つ環境も質の向上につながる。教育を受ける権利、法の下での平等の観点から見ても、早急な改善が必要。現在の鹿島特別支援学校の立地条件から見ても、これ以上の増設は、子どもたちの居場所を狭め、伸び伸びと教育を受けるための環境を悪化させることになる。以上の理由から賛成とする。

賛成



宇田一男議員

請願趣旨は、鹿行5市の児童生徒が通う鹿島特別支援学校において、年々児童生徒数が増加し、在籍数は350名程度と県内2位、全国的にも上位に入る規模となることから施設の過密が問題となっていること、肢体不自由児教育や医療ケアが可能な施設整備が未整備なため十分な教育が困難なこと、通学においても片道2時間弱、往復で3〜4時間も日々費やしていることを改善するよう県に求めるもの。これは、障がいを持つ児童生徒やその家族・関係者の切なる求めであり、願意妥当と考え、賛成とする。

賛成



立原弘一議員

地域の特別支援教育の担い手として大きな役割を担っている鹿島特別支援学校の必要性は重く、近年の児童生徒数の急増傾向、規模拡大と充実、過密度などを鑑みると鹿行地域に新設校が必要であるとの願いはもつともである。現状の学校を中心に、超過密の解消とそ

の他の課題を保護者や教職員と意見交換をしながら、より良い施設・環境を実現するために鹿行地域の合意形成を目指すのが理想型だとすれば、本請願が保護者の願いが詰まったものである以上、本請願を採択し、今後どうするのかを共に考え、行動の指針を生み出す努力こそが求められていると考え、賛成とする。

賛成



菅谷毅議員

通学に2時間も要するなど、苛酷な通学環境を訴える児童生徒及び保護者の切実な訴えを真摯に受け止め、教育環境の改善を求める請願に対して、拒むべき根拠が全く見当たらない。委員会の中での反対意見として、今後の移転を想定しているが、あくまでも改善、充実を求める内容であり、請願の文言の中には「移転」という言葉は入っていない。想像、もしくは思い込みによって反対したのであれば、請願者に対して大変失礼なことだと考える。以上の理由から、本請願に賛成とする。

一般会計等の補正予算5件を 審査

9月9日に開催した予算決算常任委員会では、補正予算5件について審査しました。

主な質疑

■議案第39号 令和4年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）

問 マイナンバーカードの申請人数と交付割合は、また、他市町村との比較は。

答 7月末現在、申請件数は3万5721件。交付件数3万995件で、交付率は46%となっている。県内の平均は43・8%、全国平均は45・9%で、鹿嶋市は平均より上回っている。

問 出張してマイナンバーカードの申請を受け付けるとのことだが、いつからいつまでを予定しているのか。また、市民にどれぐらい普及したら止めるのか。

出張してマイナンバーカードの申請を受け付けるとのことだが、いつからいつまでを予定しているのか。また、市民にどれぐらい普及したら止めるのか。

答 11月から2月頃までを予定している。国は全国民が取得することを目指していることから、本市も全市民が取得することを目指しており、出張申請は永続的に行っていきたいと考えている。

問 アルコールチェッカーの購入を予定しているが、管理運用体制は。

答 10月1日から道路交通法の改正により、安全運転管理者にアルコールチェックの義務が加わる。なお、安全運転管理者は1名しかいないため、車を配属された部署の運行管理者である管理職に、アルコールチェックの業務を委任するような形を取っている。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

市職員の定年延長に関する条例や インボイス制度に関する請願を審査

総務生活委員会では、2件の議案と1件の請願を審査しました。

主な質疑と討論

■議案第45号 鹿嶋市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

問 市財政及び職員採用計画への影響は。

答 市の負担はそれほど増えないと考えている。新規採用計画への影響もない。

問 職員組合への説明は。

答 60歳を超える職員の給与は7割水準となることを説明。

【賛成討論】

・従前の役職定年の運用方法を参考とすべき。
・給料を下げることに對して疑義は残るが職員の処遇改善

にはつながる。

・組織として正規職員を確保する姿勢を評価する。

■令和4年請願第3号 インボイス制度の実施中止を求める意見書に関する請願書

【反対討論】

・税の公平性を保つためにも税体系をしっかりと構築しておくことが必要である。

【賛成討論】

・シルバー人材センターの会員を含め事業者への影響は計り知れず、働く場所の確保という観点からも、国に対し市民や事業者の声を国に届けることが地方議会の役割である。

採決の結果、議案第44号及び第45号については全員賛成で、令和4年請願第3号については賛成多数で、原案のとおり可決・採択すべきであると決定しました

文教厚生委員会

特別支援教育の環境整備に関する請願書などを審査

文教厚生委員会では、請願2件、意見書1件について審査しました。

主な質疑と討論

■令和4年請願第4号 特別支援教育の環境整備に関する請願書

意見 ・意見書を提出すること
とで移転となった場合、市内在住の児童・生徒が不利益を被ることが懸念されるのではないか。

・1自治体の問題ではなく地域の問題として取り組むために意見書の提出は必要である。

【反対討論】

・市内の多くの児童・生徒が通学している現状を考えると移転につながる請願については反対せざるを得ない。

【賛成討論】

・教育環境の現状や通学のリスクが高いことから県に改善を求める意見書を提出すべきである。

■令和4年意見書第1号 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

問 インボイス制度の中止・延期ではなく、シルバー人材センターのみに支援を求める意見書である理由は。

答 社会参加、健康維持に重きを置いた「いきがい就業」をしている高齢のセンター会員へ支援をお願いしたい。

賛成討論 ・収支相償を原則とした公益社団法人であるため意見書の提出には賛成である。

採決の結果、請願第2号及び意見書第1号については全員賛成で原案のとおり可決すべきであると決定しました。

また請願第4号については可否同数となり、現状維持の原則により、委員長において不採択すべきであると決定しました。

採決の結果、請願第2号及び意見書第1号については全員賛成で原案のとおり可決すべきであると決定しました。

都市経済委員会

市道路線の認定議案を審査

都市経済委員会では、1件の議案を審査しました。

■議案第48号 市道路線の認定について

主な質疑

問 寄附前の状況は。

答 便宜上、道路として使用されていた。

問 寄附に係る善行表彰の考え方は。

答 鹿嶋市表彰条例での善行表彰は、本市公益のために50万円以上相当の金品その他を寄附したものと規定されている。金銭だけではなく、内容にもよるが土地についても該当する。

採決の結果、本案は全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。



市道 3521 号線の現地調査

路線名	事項	番地先の表示	延長・幅員
市道 3521号線	起点	鹿嶋市大字中字中山 2736番12地先	51.1m 4.6m～9.2m
	終点	鹿嶋市大字中字中山 2734番22地先	

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



こいけ 小池 みよ子 議員
〔発言時間＝60分〕



Q デマンド型乗り合いタクシーについて

小池

デマンド型乗り合いタクシーについて、停留所及び登録者数の推移について伺う。また、大野鹿島間をワンコインで利用できないかという利用者の声が多く寄せられているが、市の考えは。

A 年間利用者は増加傾向

政策企画部長

令和元年度に年間利用者が1万3036人、令和2年度には1万2255人、令和3年度には1万4651人と、コロナ禍により令和2年度は落ち込んだものの、増加傾向にある。また、目的施設についても、事業開始時には86か所であったところ、現在では138

Q 今後の敬老会は

小池

高齢化社会が急速に進む中、今後の敬老会の実施について市の考えは。

A 要望を踏まえた形での事業に

健康福祉部長

令和5年度以降の実施方法については、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、従来の式典形式から、市民に定着しつつある新しい生活様式への転換の時期と捉え、節目年齢等を対象とし、高齢者の要望も踏まえた形での敬老事業にしていきたい。

Q ランドセルの配布は

小池

ランドセルの配布について、男は黒、女は赤と押しつける時代ではなくなった。見直す時期かと考えるが、市の考えを伺う。

A 新年度から新たな形のランドセルを支給予定

教育長

大きさ、重さなどの課題があり、その対応策について検討を進めてきた。現在既に見本の作成に取りかかっており、令和5年度の新小学1年生には新しい形のランドセルを配布できる見込み。従来の形と大きく異なったファスナータイプの採用により、改善要望の多かった大きさと重さについて、A4フラットファイルが入る大きさでありながら、重さは現在よりも軽くすることができた。色は男女統一とし、アンケート結果から好評であった明るいキヤメル色とした。児童及び保護者には、就学時健康診断の際に、ランドセルの形・色が変更になる旨を伝えていく予定。



Q 大野区域の地区計画整備 事業の進捗は

内田

大野地区は、線引き制度導入により旧大野区域全域が市街化調整区域になること併せ、鹿島大野駅、長者ヶ浜潮騒はまなす公園前駅及び荒野台駅の3駅周辺の地区計画を定め、土地利用を集約型の都市づくりの展開として計画した。事業の進捗状況について伺う。

A 事業推進を図りたい

都市整備部長

鹿島大野駅周辺地区では、整備状況として、道路新設10路線、延長約1900メートル、進捗率は約47%。公園については、1か所、2600平方メートル、進捗率は41%。長者ヶ浜潮

騒はまなす公園前駅周辺地区では、整備状況として、道路新設約65メートルと道路用地の一部を買収している。荒野台駅周辺地区では、整備状況として、道路新設3路線と既存道路拡幅1路線、約1050メートル、進捗率33%と公園用地の一部買収を行っている。

Q 洋上風力発電を活用した 地域活性化は

内田

洋上風力発電の基地港灣を活用した鹿嶋地域の活性化の方策について、市の見解を伺う。

A 市の将来発展の鍵

市長

洋上風力関連産業の創出の成否が、市の将来発展の鍵と言っても過言ではない。市洋上風力発電事業推進ビジョンでは、基地港灣を核とした洋上風力関連産業の総合拠点の形成を目指した策定を進めている。本ビジョン策定後は、ビジョンの実現に向け、関係機関と連携しながら、様々な施策を展開し、地域経済の持続可能な発展につなげていきたい。

Q 情報化計画について

内田

第4次鹿嶋市情報化計画の遅延・未実施項目の対応について伺う。

A 各項目検討・調査研究をしていく

総務部長

オンライン申請の充実については、令和3年度から窓口を初め、マイナンバーカードの活用を開始。マイナンバーカードの活用については、カードを活用したオンライン申請手続の充実を図るとともに、市民カードなどの機能統合などについて調査研究していく。オープンデータの推進については、公開手法を決定した上でデータを提供していく。ICTを活用した公務の効率化については、具体的な公務支援システムの導入を検討している。情報セキュリティポリシーの遵守・見直しについては、随時セキュリティポリシーの見直しを行い、ICT研修などにおいて職員に浸透させていく。システムデータの保護、業務継続性の確保については、災害や事故発生時のデータ保護体制の強化について調査研究をしていく。



うちだ まさぶみ
内田 政文 議員
(発言時間=60分)





この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



Q 地域医療について



うだ かずお
宇田 一男 議員
〔発言時間＝45分〕



宇田 市を含めた鹿行保健医療圏の現状をどのように考えているのか。

A 医師不足・救急医療体制の確保が課題

市長

鹿行地域医療圏の人口10万人当たりの医師数は、県内の2次医療圏において最下位、全国の各医療圏との比較でも低迷している。市の現状は、令和2年実績で108名の医師が在籍し10万人当たりでの換算では161・3人で、鹿行地域医療圏内では最も高い状況（潮来市43・5名、神栖市90・1名、行方市62・1名、鉾田市54・5名）。しかし、国及び県では、人

Q 救急医療体制とコロナ感染者受入れ対策の両立は

宇田 救急医療体制維持とコロナ感染者受入れ対策の両立は確立されているか。

A 両立に向けた体制構築を図っている

健康福祉部長

各医療機関においては、一般患者診療とコロナ患者対応の両立を図るべく最大限の対応をいただいた。国・県でも、コロナ対応協力医療機関に対しては、入院受入れ病院への医療体制の強化を目的とした医療機材の整備、検査体制支援のための検査機器導入支援、医療従事者の労災給付の補償等についての保険料補助等、補助金と支援のほか効率的な

口10万人当たりの医師数が200人を超えていることから、医師不足であるという現実を深く受け止めなければならぬ。また、診療科目の偏在があり、中でも救急医療の体制確保については喫緊の課題であると認識している。

Q 地域医療体制への思いは

宇田 地域医療体制の維持・向上に向けた、市長としての思いは。

A 着実に成果を挙げられるよう取り組む

市長

喫緊の取組としては、市内医療機関に定着する医師の確保と不足診療科の医師確保が重要。昨年小山記念病院にて産婦人科医2名が確保され、現在は、循環器内科医2名の確保について、県において協議が進められている。心身の健康は、市民生活を送る上で最も重要なことであり、本市の医療提供体制の強化は、私の使命だと考えている。市政の整理整頓を推し進め事業財源の確保を図るとともに、地元医師会や各医療機関・県・市民とコミュニケーションを図りながら、鹿行保健医療圏地域医療構想調整会議をはじめ様々な場面において、着実な成果が図られるよう取り組んでいく。

業務軽減を図るなど両立に向け体制構築を図ってきた。



Q 通所介護などの報酬加算について

川井 政府はコロナ禍で経営難となった事業所への救済策として、通所介護などの報酬を加算とした。感染拡大という状況で、利用料の3%加算はどういう加算なのか伺う。

A 事業所が3%加算できる

健康福祉部長 コロナによるデイサービス利用者減少の加算、いわゆる3%加算とは、通所介護などで新型コロナウイルス感染症の影響等により、一定程度利用者数が減少した場合、事業所が介護基本報酬の算定時に、3%上乗せした金額を請求できるという介護報酬の加算のこと。3%加算は、厚生労働省が

対象とする感染症や災害が発生した場合、加算できるとされている。

Q 3%加算の調査を求める

川井 本来なら国に求めていくべき減収補填分だが、コロナの感染拡大による利用者の減少、利用料の減少分を、ケアを受けていないのに利用者の利用料に上乗せをする。施設を守るという点で仕方がないことだというが、納得のいかない利用者がある。感染拡大でどこまで負担が増え続けるのか、利用が続けられるのか心配だという声が出ている。市としての調査を強く要望するが、いかがか。

A 本市では5名

健康福祉部長 現状、本市では他市の事業所に通い3%加算を適用された利用者が5名ほどいる。実情に関しては、ケアマネジャーを通して、介護の実態、生活の実態等を聞きながら、情報把握、収集をしていきたい。

Q 選挙当日に無料の送迎を

川井 選挙の当日、無料でタクシー送迎を実施している自治体がある。市で検討できないか、考えを伺う。

A 実施は困難

選挙管理委員会書記長 運転手の確保や費用対効果の面などで課題が多いため実施は困難。しかし、投票所への移動が困難な方は今後増加が見込まれているため、重要な問題であると認識している。有効な方策の実施の可能性について検討し、投票しやすい環境の整備に努めていく。

川井 選挙当日、共通投票所の導入や投票所の拡充も試みているところがある。市で共通投票はできないか。

選挙管理委員会書記長 市内数か所で期日前投票所を設けており、コロナ禍において、分散投票が求められていることから、まずは期日前投票所の利用促進を図ることとし、共通投票所の設置は当面は見送る。



かわい ひろこ
川井 宏子 議員
(発言時間=90分)

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



すがや 菅谷 議員

(発言時間＝60分)



Q 新自由主義ではない行財政改革を

菅谷

1980年代から進められた新自由主義的な政策

により小さな政府や民営化が進められた結果、公共交通、公立病院、水道事業など市民生活を維持できないものになっている。縮小されすぎた医療や介護などの公共サービスをポストコロナでは再構築すべき。そのような中、市長の進める行財政改革の柱と目標を伺う。

A 持続可能な市民サービスができる財政運営を目指す

市長

目指すところは、持続可能な市民サービスができる財政運営であり、財政健全化に

Q 行政組織の見直しと行政運営は

菅谷

組織横断的な課題を解決するため、柔軟に対応できる組織に見直し、正規・非正規職員が混在する職員体制も整理すべきと考えるが、市の見解は。

A 効率的・効果的な体制を構築

総務部長

市を取り巻く社会経済情勢等を踏まえ、市民ニーズの高度化、複雑化する行政需要に速やかに対応するため、行政運営を行う上で、最少の経費で最大の効果を上げるとともに、常に組織及び運営の合理化に努めるとの地方自治法の趣旨に沿って、より効率的で効果的な組織、職員体制を構築していきたい。

Q 市民の底力を引き出すチャンス

菅谷

10月に労働者協同組合法[※]が施行され、これまでNPO法人や社会福祉協議会などで取り組んできた事業を発展的に実施することができるよう、新しい行政の担い手として有効ではないかと言われている。行政の地域課題の解決のため行政改革の重要な項目に位置づけるべきで、住民周知や予算措置も積極的に進めるべきと考えるが、いかがか。

A 様々な課題解決につながる

政策企画部長

労働者協同組合の設立は、新しい市民活動の形の一つであり、市としてその支援は必要と認識し、行財政改革においても、財政健全化のほか、地域が抱える様々な課題解決に向けて、持続可能なまちづくりの実現につながるものと考えている。詳細が分かり次第、早期に庁内での仕組みづくりを検討し、適切に対応していきたい。

※労働者協同組合…組合員が出資し、それぞれの意見を反映して事業を行い、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織。(日本の協同組合:農協、生協、漁協、労働金庫、こくみん共済コープ、信用組合、森林組合、労働者協同組合など)



まずい あきひろ
舛井 明宏 議員
〔発言時間＝45分〕

Q 市の財政は

舛井 本市の財政についてどのような認識を持たれているのか。

A 非常に厳しいと認識

市長 非常に厳しいと認識をしている。今後具体的にどのようなしていくかが私に課せられた重要なテーマの1つ。今後歳入は、人口減少や基幹産業の構造改革などにより、先細りとなることが予測される一方、歳出は施設の維持管理に加え、義務的経費が増加していくと予想している。そのような状況の中で、成果の低い事業の予算をより実効性のある事業へ集中させるなど、政策の整

Q 行財政改革の取組は

理と再構築をする必要がある。この取組を通じて、今後子育て、医療、福祉、インフラなどの基本的な市民サービス充実に向けて財源を確保したい。

舛井

来年度の予算編成が具体的に計画されていく時期だが、各当局における行財政改革に向けた事業の整理整頓の検討や進捗具合は。

A まずは歳出の縮減が必要

市長

行財政改革においては、まず歳出の縮減が必要であり、早急に取り組むべきものは事業、業務の断捨離。そこで必要とされるのは目的と手段、成果の整合性を検証し、数値化による分析を根拠とした政策立案が大切であり、職員にはロジックモデルを用いた事業の設計図を書くことを今後求めていく。また、行財政改革の理解を深め、組織として同じ

方向に進むために、部課長級、課長補佐級までの職員に対し、延べ148時間ほど意見交換を含め研修を実施した。さらに、廃止すべき事業や手続について職員からアンケートを通じて意見を聞き、事業廃止が可能なものを現在抽出、精査中である。

舛井

限られた厳しい財政の中、安定した市民サービスを行うためには、より選択と集中を徹底していくという、大きな、または厳しい決断が今後必要になるのかもしれない。そのときに影響を受けるのはやはり市民であるため、しっかりと丁寧に市民への説明責任を果たしながら進めていくことをお願いしたい。

【こんな質問もありました】

① 質基金について
② 質ふるさと納税における新たな取組
③ 質 将来に向けた官民連携事業の考え
④ 質 都市公園のバンドリング事業計画の新たな進捗

ここが知りたい！ 一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



かわつ 河津 とおる 亨 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 観光客数の推移は

河津 鹿嶋市の観光客数等はどうなのか。

A 令和3年度は約147万人

経済振興部長 東日本大震災直前である平成22年度の茨城県観光

動態調査の数値では約270万人、震災直後の平成23年度については約220万人、平成28年度には平成22年度の270万人近くまで観光客数は回復した。令和2年度は平成22年度の3分の1になる約90万人と激減、令和3年度は約147万人と平成22年度の55%となっている。

Q 市の玄関口の景観は

河津 市の玄関が観光客を迎えようとしていると思えないのが現状。せめて市の観光地に向かう道路やそこから見える景観には第三者目線での注意も必要だ

と思うが、市の考えを伺う。

A 改善していきたい

都市整備部長 景観上決してきれいとは言えない状況であり、市民の皆様の利用においてはもちろんのこと、観光政策の観点から、市外から来訪する方に対してお出迎えするおもてなしの気持ちといった配慮が不足した状況であると認識している。草の繁茂についても、同様に景観を損ねる一因であり、さらなる工夫が必要であるため、改善していきたい。

Q 道の駅の建設は

河津 道の駅は建設費用に国の補助金を活用できるため、自治体の負担も少ない。またその

土地の農産物が安く買えるため、

A このタイミングでは難しい

市長

財政改革に注力するこのタイミングでは難しい。しかしながら、道の駅の建設計画については、財政の状況が好転をし、国の補助なども活用できることになれば、その時の社会情勢を判断しつつ検討をしていきたい。現時点での市の取組については、にぎわい拠点として位置づけている鹿島の里事業などの整備が進められている民間施設に道の駅機能地域振興の部分についても担っていただくようお願いしていくとともに、市としては鹿島神宮周辺やスタジアム周辺との回遊性が担保されるような仕組みづくりに取り組んでいきたい。



Q 市長の目指す市政運営は

田口

市長の進める政策を支援する議員の1人として、市長の目指す「Next鹿嶋 挑戦 明るく、心豊かに暮らせるまち鹿嶋」について具体的に伺う。

A 心豊かに暮らせるまちに

市長

「明るく、心豊かに暮らせるまち鹿嶋」はまちの将来像として表現したもの。「明るく」は、日々の生活、将来も明るくという意味を込めている。「心豊かに」は、不安を抱かせない生活環境であり、心を満たす自然や歴史、文化、人と人とのつながりなど、物や金銭面の満足感以外で、このまちに住んでいるからこそ得

Q 自治会の現状と課題は

田口

平成30年12月に「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」とした中央教育審議会答申があった。1つ目に地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンタリー的な役割、2つ目に地域の防災拠点が加わった。市には中央公民館と各公民館合わせて11の公民館があり、市民にとっての貴重な財産であり、地域コミュニティの拠点である。現在各地区の公民館には館長10名、地域活動支援員10名、公民館主事33名、地域福祉推進員21名、まちづくり委員会の委員830名、地

られる日々の暮らしに関わるものに対し満足されることを表現している。この考えのもと、市政運営方針としてまとめたものが、Next鹿嶋の5本の柱である、①次世代も輝く雇用のある鹿嶋②行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋③元気で賢い鹿嶋④子育てしやすい鹿嶋⑤行政改革である。

A 新たなスタイルが求められている

市民生活部長

市には現在12小学校区に101の自治会が存在し、地域の特性を生かした運営がされている。令和3年度に区長を対象に実施した区・自治会に関するアンケート調査からも、「新規の自治会加入者が見込めない」「役員の成り手が見つからない」「区長や自治会に求められる役割が多くなり運営の負担を感じる」などの運営に関する課題を把握している。自治会に代表される地域コミュニティは、住民の安心につながる存在であり、特に地域によって高齢化、核家族化が顕著に進む時代にあっても、その機能は非常に重要。市としても、変化する時代に合わせた新たな地域コミュニティのスタイルが求められているのではないかと模索しており、区長会とも意見交換会を行っていく。



たぐち しげる
田口 茂 議員
(発言時間=90分)

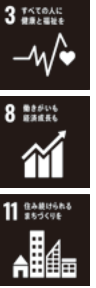


一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



ささぬま やすひろ
笹沼 康弘 議員

(発言時間＝30分)



Q 防災計画について

笹沼

地域防災計画と地区防災計画の違いは。また市の

取組の現状と進捗について伺う。

A 実情に応じ支援に努める

市民生活部長

地域防災計画は、市全域を対象とする計画。地区

防災計画は住民や事業者が自由に定めることができ、小学校区単位、自治会単位、あるいは班単位など、防災活動を継続的に推進できる区域とすることが望ましいとされている。現在、市内において地区防災計画を策定し、地域防災計画に規定されているものはない。今後の取組について、各地区まちづくり委員会、自治会代表者との

Q 個別避難計画について

笹沼

昨年法改正のあった「個別避難計画」の役割を県

でも公表している。市の取組状況と今後の避難行動要支援者の個別避難計画について伺う。

協議を進めながら、計画策定に向けた支援に努めていきたい。

A モデル地区を選定し全体へ

健康福祉部長

本市では、速やかに市内の避難行動要支援者名簿を作成するとともに、避難支援における一連の対応を鹿嶋市避難行動要支援者避難支援プランとして策定。さらに市が作成した避難行動要支援者名簿に記載された約1900人に対し、災害発生時に名簿に記載された情報を避難支援関係者等へ提供することについての同意確認を行い、同意状況については、令和4年4月1日現在で354人、全体の15・5%となっている。今後については、モデル地区を選定し、策定過程での評価点や反省点などを踏まえ、市全域

Q ふるさと納税について

笹沼

ふるさと納税の実績と今後の計画や方向性は。

にこの取組が広がっていくよう策定支援に努めていきたい。

A 見直しに着手

市長

本市の令和3年度実績は、約6700万円が市外へ流出している計算となり、この状況は平成30年以降4年連続となっている。今後の取組について、1点目は、プロダクトアウト型の発想に頼ることなく、マーケットインの発想に大きくかじを切るべきと考えている。寄附者の立場になって、売れるものを返礼品として開発することへ切り替えていく。2点目は推進体制の刷新。魅力的な返礼品の開発を実現し、多くの寄附者の目に触れさせ、手に取ってもらうためには現在の体制は不十分であるため、民間の力も使いながら着実に効果を上げる体制を構築していく。

国に2件の意見書を提出しました

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

【意見書の提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国税庁長官、厚生労働大臣、経済産業大臣

シルバー人材センター（以下、「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持促進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することが難しいことから、センターは仕入税額控除が出来なくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。

人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きをおいた「いきがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。

センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところであり、少額の収入しかないセンターの会員の手取額がさらに減少することなく、センターにおいて安定的な事業運営が可能となる措置を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

【意見書の提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症対策にともない新たな業務も発生しています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。2021年3月の義務教育法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられるものの、今後は、小学校に留まることなく、中学校での35人学級の早期実施も必要です。加えて、きめ細かい教育をすすめるためには、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。一方、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で2006年度に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

**きかせて！
あなたの夢**

個人が輝ける 社会へ

私は将来、科学の研究職に就きたいと思っています。そのきっかけは、私の弟に障がいがあり、その原因の一つとして考えられている遺伝子について興味を持ったことでした。研究職に就き、どんな人も個性を大切に、個人が輝ける社会にしたいと思っています。

私のこと、多くの本に触れ、学びを増やしていくと同時に、学業以外にも興味を持ったことには挑戦していきたいと考えています。

鹿嶋市に対しては、カフェがあり、屋上にテラスのあるような素敵な図書館を作ってほしいです。すべての世代が利用しやすい「本に興味を持てる」場所があったら、まちの活力につながると思います。

自分の夢を明確に持ち、それだけに囚われず何でも吸収したいという知的好奇心の塊の宮原さん。遺伝子研究者に向けて精進してください。

(樋口・内野)

清真学園中学校3年生

宮原 誓成さん



議 会 T O P I C S

総務大臣から感謝状を授与されました！

飯塚俊雄議員が、議会の議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められ、総務大臣より感謝状が贈られました。

「このたび、総務大臣より表彰を受け大変嬉しく思います。

35年の議員生活において、多くの皆様に支えられ大過なく過ごすことができました。

誠にありがとうございました。」



飯塚俊雄 議員

委員長 樋口 富士男
副委員長 小井 明宏
委員 宇田 池 明宏
委員 笹田 一 明宏
委員 内野 敬 弘

◆広報広聴委員会

今回は清真学園中学校に訪問し、夢についてインタビューさせていただきました。部活の時間を割いてインタビューに答えてくれた宮原さんは、最初は緊張した様子でしたが、夢の話になると積極的に語ってくれたので終始リラックスして進行できました。

私たちインタビューアも彼の話に感心し、また勉強にもなりました。顧問の先生の御協力もあって約1時間のインタビューとなりました。ありがとうございました。

編集後記

樋口富士男

次回定例会は **12月1日(木)** 開会予定です

12/1(木)	本会議：開会
7(水) 8(木) 9(金)	本会議：一般質問 ※9日は予備日
13(火)	本会議：質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
14(水)	予算決算常任委員会
15(木)	常任委員会
20(火)	本会議：委員長報告・討論・採決・閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。
<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/19gikai/3297.html>

鹿嶋市議会だより **とびら** No.110 (令和4年11月1日発行)

■発行人 議長 篠塚洋三 ■編集 鹿嶋市議会広報広聴委員会
■発行 茨城県鹿嶋市議会
〒314-8655 茨城県鹿嶋市平井 1187 番地 1 電話：0299-82-2911 (代)

次号の「とびら」は令和5年2月1日発行 予定です